

なかのデジタルプラットフォーム整備計画（ステップ1）案について

1 趣旨

中野区DX推進計画（以下、「DX推進計画」という。）では、区民サービスの質的向上に向けたデジタルサービス体制を整えることとし、本サービスの運営基盤として「なかのデジタルプラットフォーム（デジタルサービス統合基盤）」を段階毎に整備することとした。また、この取組をDX推進計画にデジタルプラットフォーム整備方針として位置づけ、かつステップ毎になかのデジタルプラットフォーム整備計画を策定することとした。

これらに基づき、本計画により区民の「探す、聞く・知る、解決する」の一連の行動を支援する区ホームページ（以下、「区HP」という。）の検索性の向上と、電話問合せの対応品質の向上を図る「なかのコンタクトセンター」（以下、「コンタクトセンター」という。）をステップ1として先行整備することとし、区民サービスの質的向上を目指すこととした。

2 計画期間

令和8年度～令和9年度

3 成果指標

	項目	概要	測定と目標	理由
1	区民等の自己解決率	区民が、区HPでの検索を通じて、職員を介さず自ら課題を解決できた割合。	導入前の電話による問い合わせ件数と比較し、導入後3年で区民からの問い合わせの約3割を自己解決に導く。	区民の利便性向上及び職員の対応軽減に貢献。
2	ワンストップ解決率（電話対応）	オペレーターが区民からの問合せに対し、他部署への転送なしに初回接触で解決できた割合。	対応履歴から転送なく解決した件数を集計し、導入後3年でワンストップ解決率を約3割以上とする。	区民のストレス軽減と満足度向上、職員の重複対応減少に寄与。
3	サービス全体に係る区民満足度	本取組について（区HPの検索性やコンタクトセンターの対応）の総合的な区民満足度を測定する。	サービス導入後1年での区民満足度を測定し、導入後3年で、区民満足度を約8割以上の目標とする。	サービス全体の区民満足度の向上により、区のイメージ向上等に資する。

4 整備計画

（1）区HPへの生成AI検索機能の組み込み等

ア 生成AI検索エンジンを導入し、区民は行政用語などによらず、話し言葉や手続きの概要から検索でき、検索結果は要約表示されるなど、利便性向上を図る。

イ コンタクトセンターの運営開始後は、運営を通じて得られた区民対応に係る改善項目（ナレッジ）を活かし、区HP等の記載内容を適時修正・改善していく仕組とする。

ウ 本サービスは、令和9年3月から開始する。

(2) コンタクトセンターの整備

ア 区民の利便性向上のため、電話対応時間の拡大（平日夜間・日曜対応）を図る。

平日 午前8時30分から午後7時

日曜 午前9時から午後4時

イ 専門オペレーター（業務委託）により、代表電話への入電について一次対応を図り、可能な限りワンストップ回答とする体制を執る。

ウ 電話対応履歴は録音し、AIにより内容を分析しナレッジとしてデータベース化する。ナレッジは、オペレーターや区職員に適時共有し、電話対応はもとより、区HPの記載内容等の改善に活かす仕組とする。

エ 必要とする区民には、電話回答と併せて関連する区HPの情報ページへのリンクをショートメールで送信するサービスを実施する。この際、コンタクトセンターの運営に関するアンケートの同送など、サービス改善につながる取組も併せて行う。

オ 運営状況を踏まえつつ、所管への直通電話の入電を段階的に代表電話に移行する。

カ 本サービスは、令和9年3月1日から開始する。

5 本サービスの区民需要等について

(1) 夜間・休日など電話問合せ受付時間の延長を希望 54.6%

(2) 区の情報を調べる手段（複数回答）

ア 区HPを検索、確認する 58.2%

イ 現状のほか、有人チャットを希望する 38.1%

(3) 今後、区民マイページが出来たら利用したい 55.5%

※中野区DX推進計画策定に係る区民意識調査結果より一部抜粋

6 その他

(1) 整備・サービス運営体制

総務部DX推進室が中心となり、企画部（広聴・広報課）及び総務部（総務課庁舎管理担当）による整備・運営体制を整備する。なお、事業の影響が広範囲に及ぶことから、全庁による連携・協力体制を執る。

(2) サービス導入の区民周知

本サービスの導入にあたっては、区報や区HPなどにより十分に周知を図る。

(3) ステップ2以降の計画検討の方向性について

ステップ1で得られた知見等を踏まえ、ステップ2以降における様々なサービスの導入計画に活かすなど、さらなる区民サービス等の質的向上を図る。

7 今後の予定

令和8年	3月～	中野区DX推進計画策定 コンタクトセンター構築・運営事業者公募 システム構築等サービス体制準備
9年	3月	区HPの検索性向上に係る改修完了 コンタクトセンター開設